

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス [葬祭業] (経営者)	・今は葬儀依頼の3分の2が直葬である。残りの半分は、数人～10人くらい家族葬、あとは昔のような葬儀である。これからは直葬が増えるかとみている。
	○	一般小売店 [家電] (経営者)	・やや良くなるとの回答は、願望も含めてである。新型コロナウイルスが少しずつ収束してきているので、今後はエアコン等の販売が伸びていくのではないかと期待している。
	○	百貨店 (店長)	・外出自粛が解除され通常営業になるので、少なくとも今よりはましになる。ただし、当分の間は、以前のように戻ることはないのではないかと。
	○	スーパー (経営者)	・緊急事態宣言解除で、人も動く。早く経済が上向いて欲しい。先日、イタリアンレストランの経営者と話したら、「6月一杯休業することに決めた。」とのことである。駐車場等の固定費がかかり、夜の宴会も取れないということである。これからどうなるか分からないが、できることを着実にこなしていきたい。
	○	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルスが多分、収束する方向に向かっていると思うので、やや販売量が上向きになるのではないかと。
	○	コンビニ (エリア担当)	・外出自粛の影響、学校のリモート授業、3密を避ける観点より、来客数の減少がみられるが、下期以降は自粛から脱すると考える。
	○	衣料品専門店 (経営者)	・今現在がゼロなので、同じか例年どおりとまではならないまでも、少しは期待したい。
	○	乗用車販売店 (経営者)	・コロナショックで落ち込んでいた新車販売が、自粛要請解除を受けて、徐々に戻ってくることを期待している。「新しい生活様式」で、マイカーの在り方を見直す動きもプラスに作用するのではないかと。
	○	自動車備品販売店 (従業員)	・現在、客単価は落ちているものの、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除に伴って、来客数は伸びてきているので、今より良くなっていく。
	○	その他専門店 [酒] (店長)	・3か月後は今より良くなっていくだろうと思っている。いろいろな景気対策と新型コロナウイルスとの付き合い方で、最悪の状態から元に戻る方法を模索しながら、今、影響を受けている飲食店も、少しずつテイクアウトだけではない形で客が戻ってくるのではないかと、期待を込めて準備をしていきたい。
	○	高級レストラン (経営者)	・緊急事態宣言の全面解除があり、ある程度の回復は見込める。
	○	スナック (経営者)	・最悪の時期は過ぎたと思っているので、後は回復するだけだと思いたい。まだまだ大変だが、乗り越えていきたい。
	○	観光型旅館 (経営者)	・ようやく緊急事態宣言が解除されたので、これから徐々に回復してくる。ただし、以前の80%ぐらいまで回復するには1年半ぐらいはかかるのではないかと。
	○	都市型ホテル (スタッフ)	・今月ベースで考えた場合は、新型コロナウイルスへの慣れ、緊急事態宣言解除により、客の動きが出てきて、良くなるのではないかと。しかし、過去にない売上の基準との比較なので、良しあしで考えれば、確実に悪い状況には変わりない。現在でも、この先の受注が大きく動いているわけではないので、極端にプラスに推移することはない。
	○	タクシー運転手	・ここ2～3日の様子を見てみると、幾らか戻ってきているかという気がするので、希望的な回答である。
	○	通信会社 (社員)	・緊急事態宣言が解除となり、徐々に人の動きも出てきている。まだ慎重な行動が必要だが、営業活動も解禁されれば、現在の状況よりは上昇するのではないかと。
	○	観光名所 (職員)	・新型コロナウイルス感染に落ち着きが見え、自粛要請も解除となったので、6月から縮小営業を開始する見通しである。ただし、すぐに平常時の来客が戻ることはない。インバウンド需要は長期的に戻らず、感染の第2波の懸念もあるものの、ひとまず営業が再開できそうで安どしている。
	□	商店街 (代表者)	・学校もぼちぼち始まりつつあるので、いくらかは回復してくると思うが、今まではクラブ活動等も一切なかったので、売上もほぼゼロに等しい。
	□	コンビニ (経営者)	・コロナショックの影響は、しばらく変わらない。
	□	コンビニ (店長)	・緊急事態宣言が解除にはなったが、また、一斉に感染が広がる怖さを皆持っているようで、現状は余り変わらない。来月以降も、そう大きく変化するということはない。
□	家電量販店 (店長)	・世界経済の減速により、買い控えが発生するとみている。	
□	その他専門店 [貴金属] (営業)	・新型コロナウイルスが落ち着くまでは変わらない。	

	□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスによるコロナショックからの立ち直りには、かなり時間が必要である。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除となったので、多少、客の動きも出てくると思うが、大きく動くとは思わない。恐らく7月くらいにならないと無理だろう。
	□	旅行代理店（副支店長）	・県をまたいでの往來の緩和や、海外への渡航の緩和がされないと、非常に厳しい。新型コロナウイルス感染前の状態になるには時間が必要であり、感染拡大第2波の可能性もゼロではないため、3か月先も上向きになっているかは不透明である。
	□	住宅販売会社（経営者）	・観光地の人出は自粛解除後もすぐには戻らない。
	▲	商店街（代表者）	・先行きはほとんど見通せない。
	▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、今後もまだ景気が悪くなる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・段階を踏んで、制限の解除が進んでいくが、まだ警戒心の方が強いようである。今はまだそう思うのも当然である。
	▲	スナック（経営者）	・政府の休業要請が解除になったものの、依然として、街中に客が戻って来ていない。この先どうなるか、全く先が読めず、見通しの立たない状態が続いている。営業自粛要請後、毎日仕事で現場に来ているが、客からの電話が1本も鳴らない日が続いている。本当に先のことを読めず、回復するのがどのくらい先になるのか、全く分からない。不安で仕方がない毎日である。
	×	商店街（代表者）	・観光地の店であるため全く先が見えず、この先は不安しかない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスによる余波が、徐々に出てくる。ボーナスも含め、全体的に収入増が見込めない状況では、消費意欲はなくなり、食料品や日用品等の必需品の購入が主になる。先が見えない状況で、小売業の先行きに明るい兆しも見えてこない。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、消費には回らないのではないかと。自粛ということで、消費意欲は減退気味で、これから更に景気は悪くなるような気がする。
	×	スーパー（経営者）	・失業者の増加や夏のボーナス減少で、低価格競争になるかもしれない。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、改善はかなり厳しいのではないかと。
	×	スーパー（副店長）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により外出が抑制され、内食需要が高まった結果、売上が伸びただけで、決して景気が良かったわけではない。現在は緊急事態宣言も解除されたが、売上よりも新型コロナウイルス問題の解決を期待する。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、かなり悪くなる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの治療薬やワクチンが早期開発されることを望む。国からのマスクはまだ届いていない。発表から約2か月、一世帯わずか2枚、これで400億円以上の費用をかけたことが悔やまれる。
	×	スナック（経営者）	・誰のせいにもできない新型コロナウイルスだが、先行きが見えない。当店のよう小さな飲食店では本当にどうしようもなく、万歳する形になりそうである。もう、言うことがない。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの悪い影響が今後も続くと考え、経済的な不安から解約や保留は、一層増していく恐れがある。
	×	ゴルフ場（経営者）	・特に観光産業では、ゴールデンウィークを中心とした繁忙期の売上を回復するのは困難であり、しばらく新型コロナウイルスの影響が響くのではないかと。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたが、経済活動が元に戻るかは不透明である。感染予防対策をしての営業をこのまま続けていっても、売上にはつながらない。いずれにしても、非常に厳しい状況は変わらない。
	×	設計事務所（経営者）	・建築設計業務では、今の社会状況の影響が遅れて出するため、設備投資を延期するか様子を見る客が多く出てくるとみている。
企業動向関連	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・大口受注の対応で、ここ2～3か月は多忙となる。
(甲信越)	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルスによる外出自粛要請が解除され、人の出入りも少しずつ回復していくことが予想される。以前同様とはいかないものの、徐々にイベントや企画など経済活動が増えて、折込広告の出稿も増えると考えている。

	□	電気機械器具製造業 (経営者)	・先の受注情報等がなかなか入らず、不透明である。
	□	その他製造業〔宝石・ 貴金属〕(経営者)	・緊急事態宣言が解除されても、デパート、路面店の客足は以前のように戻っていないため、積極的な仕入れはない。1～2か月は現状の低迷が続く可能性がある。業界内の倒産も懸念材料である。8月の展示会で海外、特に、中国からのバイヤーが入国、購入できるようになれば、それをきっかけに業界の盛り上がりが出てくる。
	□	建設業(経営者)	・新型コロナウイルスが収束しないことには、将来は全く分からない。
	▲	食料品製造業(製造担 当)	・6月に入り、本格的に再稼働する宿泊先や飲食店、飲み屋等も、すぐには元には戻らず時間がかかる。新型コロナウイルス感染予防対策にも経費がかかり、売上が減少しても固定費の支払はそのままだので、厳しくなる。
	▲	食料品製造業(総務担 当)	・新型コロナウイルス感染拡大予防のための巣籠り需要も少しずつ陰りを見せている。商材の特性上、夏は従来から販売が悪化するが、今夏の天候は高温予想で良い材料が見当たらない。
	▲	一般機械器具製造業 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか分からず、また、収束後も生産活動が元に戻るまでの期間が見通せない。
	▲	電気機械器具製造業 (営業担当)	・受注が減少している。
	▲	金融業(経営企画担 当)	・緊急事態宣言が各都道府県で解除されているが、客の購買活動等が回復するにはまだ時間を要し、取引先企業の売上増にはつながらない。当地域の状況を見ても、いまだに以前のような経済活動ができていない。
	×	食料品製造業(営業統 括)	・新型コロナウイルスがいつ収束するか分からない状況で、各メーカー共、山積みされた在庫を抱えている。また、秋の原料購入資金も十分に手当てできないメーカーが現れ始め、農家に影響が出る恐れもある。
	×	出版・印刷・同関連産 業(経営者)	・ふだんでも売上が悪いのに、新型コロナウイルスの悪影響も出てきている。
	×	出版・印刷・同関連産 業(営業担当)	・夏～秋のイベントも既に中止が決定し、それに伴って、印刷物もなくなる状況で、本当に悪くなる一方である。
	×	金融業(調査担当)	・緊急事態宣言解除後も、県内の観光関連産業では厳しい状況が続く見通しである。また、世界的な景気減速の影響が製造業にも波及してくると、今後更に悪化する可能性がある。どの程度まで持ちこたえられるのか、企業の体力勝負になってくる。人が動かなくても、お金が回る仕組みや政策をひねり出さなければならない。
雇用 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	職業安定所(職員)	・緊急事態宣言の解除により、新型コロナウイルスの影響が収束に向かうという希望と自粛生活からの解放により、購買活動、旅行、レジャー等に反動が出るのではないかとと思われる。
	○	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスが収束すると思うので、やや良くなる。
	□	求人情報誌製作会社 (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の影響が、今後も長引くようであれば、事業所の倒産や閉鎖等の増加が懸念される。
	▲	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの影響は、すぐには消えないとみている。
	×	人材派遣会社(営業担 当)	・派遣期間満了での契約終了を検討する問合せが増えるのではないかとみている。